

2 (3) その他意見・自由記載意見

※自由記載の解答欄がある項目のうち、回答があったもの

問 8 どこ（誰）にも相談しなかったのは、なぜですか

- ・自分で働いて子どもを育てるしかないと思ったから
- ・特に相談する人は、いない

問 14 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、誰もが暮らしやすい社会をつくるために、今後、市はどのようなことに取り組む必要があるか

- ・性的マイノリティについては理解できない
- ・性的マイノリティを気持ち悪いと思う自分がいます。
- ・今は過剰に LGBTQ について国が取り組みすぎていると思う。トイレなども、個体としての見方で判断でいい。いろいろ言いすぎることによって過剰な区別につながっている
- ・マイノリティではなく、マジョリティを大事にすべき。偏見をなくす努力のみで良いと思う
- ・小学校からの教育
- ・積極的になにかをやる必要は無い

問 16 「共同参画社会」を実現するため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきか

- ・する必要がない。少なくとも国家予算は絶対に投入すべきではない。
- ・障害をもった人も幸せに生きる制度、施設の充実。そこに関わる人たちの働きやすさ賃金の充実。

○ (8) アンケート全体について (自由記述) ※公表を希望しない方を除く

20 代 (3 件)

- ・全世代の方が住みやすく住み続けたいと思える石狩を作っていきたい。
 - ・自分が学生時代に学んだ時に比べると、男女の平等化は進んでいると考える。しかし職場では今でも古い価値観を持っている人が多数いるため、改善してほしいところは多々あります。
 - ・若い世代では男女差別の意識は徐々に薄れてきていると感じますが、家庭環境によっては依然として根強く残っているとも感じます。そのため子どもの頃からの教育を通じて、互いを尊重し合う意識を育むことが重要だと思います。
- また、男女平等の考え方が誤って伝わったり、行き過ぎた主張がなされることもあるた

め、正しい知識の普及とあわせて、社会全体で公平な考え方や対応ができるようなルールや制度を見直し、整えていくことも必要だと感じます。

ワークライフバランスを整えることに繋がると思うのですが、介護職や保育職といった社会を支える仕事の給与や待遇を改善し、多くの人が意欲を持ってその職に就ける環境づくりが大切だと考えます。

30代（2件）

・市民生活という意味では、現在にあまり不満らしいものはございません。このアンケートの統計・結果を公表すること、結果によって何がどう変わったのかを大々的に実施することで、初めて意味を成すと思います。結果、実行、周知です。

・個々の状況や、支援制度などにも偏りがあると思うので一概に平等かどうかと判断できないと感じた。

40代（7件）

・選択肢によっては自分の意見が反映されにくい選択肢である場合があり、自由記入欄があってもよかった。多様性が求められている中で、選択肢で集計していくことに限界があると感じている。

・共同参画に10兆近くの前算をかけるようだが今はその前算を物価高と経済対策に当てるべき。このようなことに大金をかけてはいけない。

・LGBTQ+は世間に広めようとパレードなどイベントを実施しているが、世代によって受け入れづらいとか、考え方（個人）によるので難しいと思う。自分の子どもがもしそうだったらと思うと、その時の自分の気持ちを変化させられるかが不安。

・今回の調査を「実施した」だけで終わらせることなく、少しでも暮らしやすい環境の一助になるような施策に反映させてほしいと切に願います。啓発・普及も大切ですが、やはり法的な整備も含め、国がやらないなら自治体からといった意識があっても良いと思っています。石狩市の市民のみならず、多くの方々に心の平和が訪れる社会であってほしいと願っています。

・男女平等については、そもそも男女の身体は生理的に異なるため、負担を平等にすることはむしろ不公平になると思います。月経や出産の仕組みなども子供たちに教育した上で、男女の違いを認め合い支え合えれば、こんなごちゃごちゃした言い争いはなくなるのになと思っています。

・男女平等といっても結局は家事、子育ては女性の役割、男性はお手伝い、という意識はなくなっていないように思います。職場の昇進についても、同じ年齢であっても男性の方が先に昇進している印象です。一度無意識に染み付いた考え方が変わるのはなかなか難しいと感じています。

・人としての人権平等を目指すのは素晴らしい事ですが、性的マイノリティの方が優先と

ならないよう注意が必要です。例えば身体は男性で心が女性だと言う方が、女性と同じ競技に出るのは間違いだと思います。男性と女性では身体の構造が違うため筋力に差が出ます。それなら性的マイノリティ枠を設けるのが本来の平等だと思います。男女の家事負担の差別はいまだに根強いです。子供の時からの教育が必要と考えます。それには男女の収入格差を無くし、男女共に勤務時間短縮、家事に割く時間を増やす必要が。海外のように収入や時間に余裕のある世の中を目指したいものです。

50代（4件）

・DVについては法的責任を重くすべきだと思う。LGBTQ+はまだ偏見意識が強く、一般化するのに時間がかかると思う。無理に過激な変革をせず、幼少期からの教育で変えていくべき。

・日々、市民のために業務推進お疲れ様です。

・今まで何を書いても、変化も改善ありませんでした

・障害を持った当事者やその家族など声をあげられない人にこそ目を向けてあげられる世の中になってほしいと願います。なので声高に性的マイノリティを名乗る人たちの意見を聞きすぎず、本当に性的マイノリティの方がいろんな制度の改革を望んでいるのか、便乗ビジネスをしようとしている人につけ込まれようとしていないか、世間のなんとなくの流れにのろうとしていないか公平に判断していただきたいと思います。

60代（1件）

・互いを尊重し合うことは、初等教育から学習する事が必要であり、家庭内でも話し合える環境作りが大切でしょう。地下鉄など色分けされた座席がないと譲れないような思想ではいつまでも共同参画は困難でしょう。

70代以上（2件）

・はるか昔に過ぎ去ったことを懐かしく思い出しました。大変な時期もあったのですが、何とか乗り切って今は本当に楽しく暮らしているので幸せです。最悪の時、石狩市の支援（児童に対するものなのですが、正式名称は忘れました、ごめんなさい）に本当に助けられ感謝しております。その折はありがとうございました。

・私の両親、夫の両親共に男女平等の意識を持ち、育った環境では男女平等を貫いてきました。人生後半の職場、地域でも幸い性別による不平等を感じることはありませんでした。その背景のせいか、私も夫も性的少数者に対する差別意識は全くありません。